7	６番　　安　部　　都　　議員 ①　小中学校の卒業・入学式や授業でのマスク着用について 　政府は、２月１０日、新型コロナウイルス対策のマスク着用に対し、３月１３日から「個人の判断に委ねる」との指針を出し、４月１日から学校では着用を求めないことを基本とした。混雑する場所や医療機関などは推奨し、その他は「本人の意思に反して着脱を強いることがないように対応していただきたい」と述べている。又、新指針適用前の学校の卒業式は、「児童生徒らは、マスクを着用せずに出席することを基本とする。」としたが、児童生徒・保護者・学校現場からは、戸惑いや不安や歓迎する声が上がっている。そこで本町のマスク対応について伺う。 （１）他市町の学校では、卒業時のマスクはつけたままで、４月から外すと決定した学校もありますが、本町ではどのような対応を考えているのか聞く。 （２）自分の意思でマスクを着ける子と着けない児童がいると思うが、今後の子どもたちへの「NO マスク」の周知・啓発はどのように行っていくのか聞く。 （３）国家・校歌の斉唱や合唱など多く集まる場所や教室でのマスク着用は基本一切着用を求めないと考えてよいのか見解を聞く。 ②　公共施設などのユニバーサル視点でのバリアフリー対策について （１）文化ホールの玄関先の駐車場での障がい者駐車場をもっと増設する考えがないのか、屋根の下に駐車した場合そのまま回って出口に出れるよう改造の考えはないのか聞く。 （２）庁舎前の玄関前に、配達用車やゴミ運搬車が停車し、障がい者が庁舎出入り口や駐車場に行くのも危険な状態である。障がい者駐車場を庁舎脇、武道館側と県道側に移転し屋根を着けて安心安全を確保したらと考えるがどうか。 （３）障がい者が参加する会議室の椅子や公共施設のトイレ、庁舎対応窓口などに、杖を置くストックホルダーを設置する考えはないのか。 （４）今年４月統一地方選挙があるが、本町の全ての会場でバリアフリー対応・ユニバーサル視点での、投票しやすい環境が整っているのか伺う。